

会 議 記 録 (1)

会議名称	令和8年度 第1回北本市社会教育委員の会議
開会及び閉会日時	令和8年5月28日(木) 午後2時00分開会、午後3時00分閉会
開催場所	北本市役所 委員会室2
議長氏名	大竹 達也
出席委員(者)氏名	森川 和代、阪井 栄見子、佐野 吉弘、樋田 雪江、岩田 俊子、眞下 美佐子、小澤 理絵、大橋 浩、井原 清子、大竹 達也
欠席委員(者)氏名	岡安 栄一、松木 綾子、大野 弥生子、大芦 進、小野 純子
説明者の職氏名	生涯学習課主幹 堀内 尚徳
事務局職員職氏名	教育部長 坂口 修 生涯学習課課長 赤塚 浩二、同 主幹 堀内 尚徳 同 主査 手島 紀恵、同 主任 金子 浩章
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 令和7年度北本市社会教育事業報告について(報告) (2) 令和8年度北本市社会教育事業計画(案)について(協議) (3) 附属機関等委員について(協議) (4) 社会教育関係団体等への補助金について(協議) (5) その他 4 閉会
配布資料	【資料 1】 令和7年度北本市社会教育事業報告 【資料 2】 令和7年度市民大学きたもと学苑実績報告 【資料 3】 令和7年度公民館等・図書館利用状況一覧表 【資料 4】 令和8年度北本市社会教育事業計画(案) 【資料 5】 附属機関等委員一覧表 【資料 6】 社会教育関係団体等への補助金について 【別添資料1】 社会教育関係団体等事業報告・収支決算書等 【別添資料2】 令和8年度北本市教育行政の重点施策

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
司 会	(略)
	2 挨拶
教育部長	(略)
事務局	この後の議事進行は、大竹委員長にお願いする。
	3 議事
	(1) 令和7年度北本市社会教育事業報告について(報告)
事務局	資料1～3に基づき説明。
議 長	質問等はあるか。
委員A	文化団体連合会で開催した「春の文化講演会」の講師名を訂正願いた
	い。正：森川畦水
事務局	訂正をお願いする。
委員B	PTA家庭教育学級の開催について、西中の参加者が120名と突出して
	いるが、オンラインでの開催か。
事務局	現地開催で行われている。
委員B	内容の選択やPRの仕方が良かったのか。
議 長	人を集めるための良い手法があるのなら、全体で情報共有し、参考にし
	てほしい。
事務局	生徒向けの講演会に、保護者が集まる機会を兼ねて開催している。
委員B	青少年非行防止街頭キャンペーンについて、どんな目的で実施している
	のか疑問に思う。実際に参加したが、16時から16時30分という時間
	では大人しかいない。渡す対象は青少年でなくてもよいのか。今後、どの
	ような方針で行っていくのか。
事務局	教員にも協力を依頼しているため、実施時間を勤務時間内に設定してい
	る。学生に手渡すことはできないが、受け取った大人から子供や対象者に
	伝えてもらうことは可能と考えている。また、渡すことによって、非行

会 議 記 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	防止のキャンペーンが行われているということが周知される。令和7年度
	は学年末の実施となったが、もう少し早い時期に行うことも検討してい
	る。
議 長	学年末に実施したことで、例年よりも学生の数が多かったということはないか。
委員B	特に影響はなかったと思う。
委員C	放課後子ども教室のスタッフはどのように確保しているのか。学校に
	よってスタッフの登録状況に差はあるのか。
事務局	スタッフについては、ホームページ、広報、ポスター、チラシによる
	募集の他、現スタッフによる声掛けを行ってもらっている。去年は活動
	公開を実施したが、思うような成果が得られなかったことから、今年度は
	公開日を特別に設けるのではなく、年間を通じ、希望があった際に見学を
	してもらおうと考えている。教室を運営できる人数が確保できてはいる
	が、高齢化が進んでおり、幾つかの教室を兼任しているスタッフもいるな
	ど、厳しい状況が続いている。登録人数が多い教室もあるが、スタッフに
	よって協力してもらえる曜日が限られており、どの教室も余裕はない。今
	後もスタッフ確保のための働きかけを継続していく。
委員B	令和10年4月から2年間、改修工事により文化センターが使用できな
	くなる。ジュニアオープンステージについては、参加団体にアンケートを
	実施予定だが、文化のつどいについてはどのように考えているのか。子ど
	もの2年間は極めて重要といえる。実施方法について希望を聞いてみては
	どうか。
議 長	文化団体の利用について、方針はあるのか。
事務局	まだ教育委員会としての方針は検討段階だが、文化のつどいについて
	は、運営委員会で今年度事業の検討と併せて令和10年度に向けての話し
	合いを行う。利用団体については、具体的にはなっていないが、何かしら

会 議 記 録 (4)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	のアプローチが必要と考えている。アンケートの実施、他の施設の利用
	状況の確認、代替施設の検討など基礎データを踏まえたうえでの対策を考
	えていきたい。
議 長	引き続き検討をお願いしたい。
	(2) 令和8年度北本市社会教育事業計画(案)について(協議)
事務局	資料4に基づき説明。
議 長	意見・質問等あるか。
委員一同	説明に対し、質疑は出されず了承。
	(3) 附属機関等委員について(協議)
事務局	資料5に基づいて説明。
議 長	北本市立堀の内集会所運営委員会、北本市人権教育推進委員会の委員選
	出について意見はあるか。
委員一同	なし。
議 長	事務局として意見はあるか。
事務局	北本市立堀の内集会所運営委員会に大竹委員長、北本市人権教育推進委
	員に小野委員を推薦する。
委員一同	了承。
	(4) 社会教育団体等への補助金について(協議)
事務局	資料6、別添資料1に基づいて説明。
議 長	意見や質問等あるか。
	ボーイスカウト北本団中央育成会の令和8年度補助金額が増えている
	のは、どのような理由か。
事務局	令和7年度の事業実績に基づいて交付された補助金額は17万円だが、

会 議 記 録 (5)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	年度当初の申請額は22万円であった。例年、22万円の補助金を交付し
	ており、大きな変更はない。
委員D	北本市婦人会でも補助金を受けているが、資金繰りが厳しく、バザー等
	の収入を活動費に充当している。
委員A	北本市文化団体連合会でも活動費が不足する期間が生じている。立て替
	えをしなければ活動が成り立たず、活動自体が縮小してしまう可能性がある
	る。活動が縮小されれば補助金も少なくなり、更に活動が小さくなるとい
	う悪循環が起き、団体の規模自体が小さくなっていくことが懸念される。
委員D	事業計画と交付のタイミングが合わず、事業の展開を変更する検討や活
	動費の立て替えが必要となっている。可能であれば、一括で交付してほしい。
議 長	意見については要望として事務局で受けてほしい。補助金額の妥当性に
	ついてはどうか。
委員一同	異議なし。
	(5) その他について
議 長	その他はあるか。
事務局	現社会教育委員の任期が令和8年6月30日をもって任期満了となる
	が、次期も引き続き委員をお引き受けいただきたい。難しい場合には6月
	15日までにご連絡いただき、後任者について相談させてほしい。
	4 閉会
委員C	(略)